

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和3年度分）

施設	名称	栃木市老人福祉センター 福寿園
	所在地	栃木市千塚町210
	施設内容	老人福祉センター
指定管理者	名称	社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会
	所在地	栃木市今泉町2-1-40
	主な業務内容	・地域福祉推進事業・介護保険事業・障害者総合支援法に基づく事業

（1）平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名	計画値	実績値
	利用案内掲示数	3か所	5か所
	休館日貸出件数	5回	0回
	アンケート数	115件	77件
	各種サービス満足度（%）（施設・サービス）	80%	92%
	利用者意見反映数	1件	0件

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	1.0	25

指定管理者コメント	<p>①管理運営指針を事務所内に掲示するとともに、毎朝朝礼において職員の共通理解を深め、指針に基づいた管理運営が行われるよう心がけました。</p> <p>②栃木市老人福祉センター条例を遵守し、3園共通の回数券、障がい者、要介護認定者等には共通の減免カードを発行するとともに、常に公正公平な態度で接遇を行うよう職員一同心がけました。また、正面玄関に開館時間、月ごとの休館日等の案内を大きく見やすく掲示し、利用者の立場に立った使いやすい施設運営を行いました。さらに、生活路線バスやコミュニティバス・デマンドタクシーに関する情報提供を丁寧に説明を行い利便性を図りました。</p> <p>③年1回実施したアンケート調査の結果から施設・サービス利用について、「非常に満足」「満足」と回答した利用者は92%となりました。調査の結果を踏まえ利用者の立場に立った施設運営に心がけました。</p> <p>④館内に利用者意見箱を設置し、広く利用者の意見を募ると同時に、意見・苦情については本会苦情解決に関する規定に基づき迅速丁寧に対応するよう心掛けています。令和2年度は特に目立った苦情は寄せられていません。</p>
-----------	--

施設所管課コメント	<p>アンケート結果からは、92%の満足度であり、高い数値を示している。また、利用者の立場に立った情報提供を行っている。評価項目である「休館日貸出件数」は、計画値を下回っているが、コロナ禍の状況から致し方がないと判断。</p>
-----------	---

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	基準利用者数の達成（人）（平成29年度を基にして5年間で500人増の利用者数			21,730人	9,696人	
	記事の掲載回数（広報の充実）			3回以上	1回	
	利用者増加に繋がる新規事業数			2回以上	0回	
	地域との協働事業数			2回以上	5回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅲ	0.6
指定管理者コメント	<p>①本会ホームページに次年度の開館カレンダーを掲載し、開館日の周知を行いました。</p> <p>②利用者の利便性高めるため、開館時間の延長及び入浴時間の延長を継続する計画でしたが、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しての開館内容となったことから、館内消毒作業を実施するため閉館時間を午後4時までとしました。休館日となっていた12月29日～31日までについては継続開館しています。さらに、回数券購入者へのサービスとして、回数券11枚綴りを5冊で1日無料とするサービスを継続実施しました。新型コロナウイルス感染防止対策のため、各種相談や3密となる事業はすべて中止にしましたが、敬老の日の無料解放及び新春福引大会に代わり、新春プレゼントを実施し大変喜ばれました。</p> <p>③吹上地区まちづくり協議会の福祉・環境委員会に委員として参加し、花いっぱい運動に積極的に関わり、また、本会の車椅子貸出事業や各種募金の取り扱い窓口を行うなど地域の利便性に努めました。</p>					
施設所管課コメント	<p>評価指標計画値から見た実績値は、下回っているが、評価項目が新型コロナウイルス感染症対策により、利用者の制限やイベントの中止など、やむを得ない点が多い。その中でも、工夫し、利用者に満足を得るための施策が行われている。ただ、評価としては、指標に対し、上回っているとの判断は難しいことから、「ほぼ計画通り」とした。</p>					

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	事務経費削減額		256,950円		4,314,726円		
	事務経費削減率(%) (コスト管理の徹底)		3%		101.00%		
	競争入札実施数(コスト管理の徹底)		15件		15件		
	燃料費見積合わせ回数		12回		12回		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	II	0.8	12	I	1.0	15
指定管理者コメント	<p>①指定管理料の収支手続きを適正に行うとともに、毎月市に運営状況報告書を提出しました。</p> <p>②常に経費削減、サービスの維持向上に努めました。</p> <p>③本会の経理規程に基づき、保守点検等の15の業務について複数の業者から見積もりを徴し比較するとともに、再委託をする際は、十分に必要性を吟味し、経費削減に努めました。また、入浴施設の燃料として使用しているA重油については、毎月見積もり合わせを実施し経費削減に努めました。</p> <p>④定期的に施設を点検し、四半期毎に結果を市に報告するとともに、設備や備品は専門業者による点検整備及び必要に応じて修理を行いました。また、館内の節電や節水、空調の適正温度管理、緑のカーテンの栽培等をし節電対策を実施したとともに、環境に配慮した取り組みを行いました。栃木市エコオフィス推進実行計画に協力し、両面コピーやミスコピーの裏面使用、再生紙の使用等を行った他、紙ごみの分別等廃棄物の減量及び再資源化に努めました。</p> <p>⑤電気料金の見直しを行い、契約内容の変更等、電気料金の削減に努めました。</p>						
施設所管課コメント	<p>新型コロナウイルスによる閉館や利用制限などもあったことから、事務費の削減につながったと思われるが、大きく削減できたことは、評価に値する。また、事務費削減につなげるための工夫もしている。電気料金の見直しも行っている。</p>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	管理体制に定められた人員配置数		4人		4人		
	報告書期限内提出（事業計画・事業報告の適切さ（%））		100%		100%		
	研修会参加者数		4人		3人		
	園長会議参加回数		6回		10回		
	勤務時間数(1人当たり)		38.75時間/週		38.75時間/週		
	経常収支比率		100%		90.9%		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	II	0.8	16	III	0.6	12
指定管理者コメント	<p>①施設を管理する者は、防火管理者・社会福祉士・介護支援専門員等の資格を有する者を配置しました。また、本会看護師が常勤しており、緊急事態に迅速に対応しました。本会本部の福祉プロパー職員とも連携を密にし万が一に備えました。また、事業計画・報告は指定された日までに、毎月の利用状況報告書は翌月10日までに提出し、適正な施設管理に努めています。管理運営体制に定められた人員4名を配置し、本会就業規程を遵守し、業務を忠実に遂行しました。</p> <p>②本会主催の研修会や外部研修会に参加し、職員の資質向上に努めました。</p> <p>③全職員、健康診断を適正に受診しました。</p> <p>④法定福利厚生及び通勤手当等の法定外福利厚生を導入しています。</p>						
施設所管課コメント	職員体制の管理等、ほぼ計画通りに実施している。						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	定期安全点検実施回数		12回		12回		
	損害賠償保険への加入 (%)		100%		100%		
	消防訓練実施回数		2回		2回		
評価	配点	第1次評価 (指定管理者評価)			第2次評価 (施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	II	0.8	16	III	0.6	12
指定管理者コメント	<p>①毎日の点検の他、自己点検チェックシートに沿って毎月点検し、必要に応じて報告するとともに、四半期ごとに施設点検報告書を提出しています。また消防設備については、業者に委託し年2回の点検を実施しました。施設の管理瑕疵に係る損害賠償保険に加入し、不測の事態に備えました。休館日や夜間など職員不在時の警備は業者に委託して対応しました。また、事務所内にAEDを設置し常に使用できるように管理しています。</p> <p>②緊急時の対応方法を定めた危機管理マニュアルを作成し、全職員に周知徹底を図りました。また、利用者の同意をいただき、緊急連絡台帳を作成し緊急時にご家族等へ連絡がとれる体制を継続実施しました。さらに、本会で災害や事故などの緊急事態が発生したときにサービスの提供をなるべく中断させない、または、中断しても可能な限り早急に再開できるよう事業計画 (BCP) を策定し緊急事態に備えています。</p> <p>③デイサービス福寿園、子どもの部屋たんぽぽと合同で避難訓練を年2回実施し、職員、デイサービス利用者として避難経路や避難の手順について確認しました。また、水消火器による消火訓練等を実施し安全対策を講じました。</p> <p>⑤利用者の同意をいただき作成した緊急連絡先台帳は、本会の個人情報保護規定に基づいた取り扱いをしました。</p>						
施設所管課コメント	安全点検や安全対策など、ほぼ計画通りに実施している。						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	25	25	
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	12	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	15	
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	16	12	
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	16	12	
評価点合計	100	85	76	
総合評価		A (優)	B (良)	

第3次評価 (選定委員会評価)	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期
資産総額	1,970,659,890	1,906,373,137	1,862,872,275
売上高	878,123,933	873,947,307	825,285,169
経常利益	△ 75,756,815	△ 43,364,759	△ 82,471,301
当期利益	△ 75,042,296	△ 44,559,167	△ 81,680,459
経常収支比率	92.1%	95.3%	90.9%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和2年3月期	令和3年3月期	令和3年3月期
経常費用	957,211,747	919,267,844	910,219,023
経常収益	881,454,932	875,903,085	827,747,722
経常収支比率	92.1%	95.3%	90.90%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

令和3年度における本会全体の財務状況は、人件費や事務費をはじめとする経常経費を削減することができましたが、介護・障がいサービスの収益減がそれを上回り、経常利益及び当期収益の赤字額が前年度より増加する結果となりました。繰越金があることから組織全体の運営に支障はありませんが、引き続きコスト削減と収入源の確保に取り組み安定した経営基礎づくりを目指します。